

長野県の小学校・中学校・養護教諭(高校を除く)を目指す皆さんへ

「ブロックの採用数を設定した採用」を実施しています。

「この地域で教師としてぜひ働きたい」という皆さんの願いを大切にしたい選考です。

ブロックの採用数を設定した採用の概要

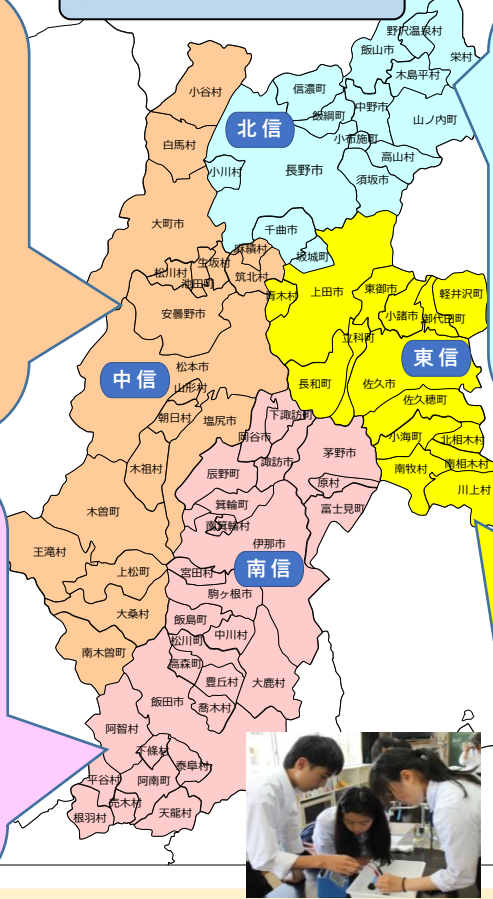
- ① 県内を4つのブロック「東信」「南信」「中信」「北信」に分け、ブロックごとの採用数を設定し、新規採用者を募集します。
- ② 志願者は、出願に際し、ブロックの第一希望として「全県」「東信」「南信」「中信」「北信」「東信・南信」「東信・中信」「東信・北信」「南信・中信」「南信・北信」「中信・北信」のいずれかを選択します。第2希望は、第1希望以外のいずれかを選択します。
「全県」は、全県どこでもよいことを意味します。ただし、第一希望として「全県」を選択した場合であっても、ブロックの希望を申し出ることが可能です。ブロックの希望については、一次選考合格後に提出するブロック調査票等により改めて確認します（「全県」を選択した者も含む）。「採用地ブロック^{※1}」は長野県教育委員会が決定します。
また、例えば「東信・南信」は、東信及び南信のどちらでもよいことを意味し、「採用地ブロック^{※1}」は長野県教育委員会が決定します。^{※1}採用地ブロック：在職期間中に主として勤務するブロック
- ③ ②で選択したものの中から、長野県教育委員会が各ブロックの採用数に応じて、採用候補者を決定します。
- ④ 新規採用者は、原則として「採用地ブロック」へ配置します。（ただし、「採用地ブロック」として選択したブロック以外への配置もあります。その場合、2校目は「採用地ブロック」として選択したブロックへの異動を原則とします。）
- ⑤ 1校目に「採用地ブロック」へ配置された新規採用者の2校目の異動は、ブロックごとに定める「新規採用者の2校目以降の異動について^{※2}」により実施します。

採用地ブロック	^{※2} 新規採用者の2校目以降の異動について
東 信	2校目の異動は、東信ブロック以外のブロックへの異動を原則とする。
南 信	2校目の異動は、引き続き南信ブロック内での異動を原則とする。南信ブロック以外に配置された者の2校目の異動は、南信ブロックへの異動を原則とし、勤務経験は南信ブロック内1つのエリア経験と同等とする。
中 信	2校目の異動は、中信ブロック以外のブロックまたは特別区 ^{※3} の学校への異動を原則とする。
北 信	2校目の異動は、北信ブロック以外のブロックへの異動を原則とする。

3校目以降は、「義務教育関係学校教育職員人事異動ブロック要項」に則る。

^{※3}特別区：山間地（へき地を含む）における教育強化のため、特に配慮すべき地区としてブロック毎に設けた地区。

長野県の4つのブロック



「中信ブロック」

は、北アルプス・御嶽山の麓、南北140kmに連なる地域です。安曇野の水田、松本の城下、塩尻のワイン醸造地、木曾路の町並み等、各地の気候・風土を背景にした、豊かな「ひと・もの・こと」が息づいています。スポーツや芸術も盛んで多様な文化に触れることができます。



(学校から望む冬の北アルプス)

「北信ブロック」

は、上信越高原国立公園の山々に囲まれ、千曲川中流の豊かな流れのもとに広がる地域です。この自然環境の中で、様々な産業が営まれ、善光寺をはじめ多くの観光地・温泉地・伝統文化・おいしい食べ物等、多彩な魅力にあふれています。県庁所在地・長野市を中心として経済・交通が発展しています。



(千曲市 あんずの里)

「南信ブロック」

は、諏訪湖周辺および天竜川流域に位置し、北を八ヶ岳連峰、西に中央アルプス、東に南アルプスを臨む自然豊かな美しい地域です。東京や名古屋への交通アクセスも整っています。古くからそれぞれの地域に根ざした文化が人々の生活と共に脈々と受け継がれています。



(高遠公園の桜と中央アルプス)

「東信ブロック」

は、佐久地域と上田小県地域に分けられます。千曲川・浅間山・八ヶ岳連峰の豊かな自然に囲まれ、新幹線など高速交通網が発達しています。ブランド化された農産物、先進技術を誇る工業、文化でも国際化が進み、「多様性」に富んだ魅力と夢にあふれた地域です。



(冬の千曲川と浅間山)



長野県では、どのブロックでも地域の特色を生かし、地域に根ざした子ども中心の教育が行われています。また、学校・教師間の交流や研修も大変充実しています。ぜひ、信州の先生になりましょう！詳しくは、「東信」「南信」「中信」「北信」の【教育事務所だより】をご覧ください。

ブロックの採用数を設定した採用 に関するQ & A

Q1 第1希望以外にも勤務したいブロックがある場合、どうすればよいですか？



A 第1希望で選択したブロック以外のブロックも「採用地ブロック」とすることが可能な採用希望者は、出願時にその旨を明記できます。

ただし、第1希望ブロック以外で採用された場合、そのブロックが「採用地ブロック」となり、在職期間中は、そのブロックで主として勤務することとなります。

例えば、「北信ブロック」を第1希望ブロックと選択し、「東信ブロック」を第2希望のブロックとして選択した受験者が、「東信ブロック」で合格した場合、「東信」が「採用地ブロック」となり、在職期間中は、「東信ブロック」で主として勤務することになります。

Q2 採用候補者はどうやって決まるのですか？



A それぞれブロックを選択した者の中から、各ブロックの採用数に応じて、採用候補者を決定します。決定したブロックが「採用地ブロック」となります。

「採用地ブロック」：在職期間中に主として勤務するブロック

Q3 補欠合格者が次年度、「補欠合格者等を対象とした選考」で受験する場合、同じ採用地ブロックで受験しなければならないのですか？

A 前年度と同一の校種・教科であれば、申込時、採用地ブロックを変更することは可能です。



Q4 採用選考合格後、採用地ブロックの変更は可能ですか？

A 合格後の採用地ブロックの変更は原則認められません。

Q5 採用された「採用地ブロック」で生涯勤務しなければならないのですか？

A 採用地ブロックは、在職中、主として勤務するブロックです。例えば、2校目あるいは研修として他ブロックに勤務する場合がありますが、原則として、採用されたブロックの中で幅広く勤務することになります。

Q6 「全県」とは、どのような意味ですか。



A 全県どこでもよいことを意味します。ただし、第一希望として「全県」を選択した場合であっても、ブロックの希望を申し出ることには可能です。ブロックの希望については、一次選考合格後に提出するブロック調査票等により改めて確認します（「全県」を選択した者も含む）。「採用地ブロック※1」は長野県教育委員会が決定します。

※1 採用地ブロック：在職期間中に主として勤務するブロック

Q7 第一希望で「全県」を希望した場合は、第二希望は選択できるのですか？

A 選択できません。第一希望で「全県」を選択した場合は、全県どこでもよいことを意味しますので、第二希望を選択することはできません。



Q8 例えば、「東信・南信」を希望した場合は、東信が優先されるということですか？

A 東信が優先されるということではありません。「東信・南信」は、東信及び南信のどちらでもよいことを意味します。採用地ブロックは、長野県教育委員会が決定します。

Q9 例えば、「東信・南信」を希望した場合は、第二希望は選択できるのですか？

A 第二希望は選択できます。ただし、第一希望で、「東信・南信」を選択しているため、「東信」、「南信」を選択することはできません。

1 ページ目の「ブロックの採用数を設定した採用の概要」を確認の上、よく考えて、「採用地ブロック」の選択をしましょう。



* 特別支援学校教諭、栄養教諭、高等学校教諭・高等学校養護教諭選考は、従来通り、全県一括して募集します。

詳細は、「長野県小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校教員募集案内・採用選考要項未来をひらく」(長野県教育委員会ホームページに掲載)をご覧ください。



学び応援キャラクター「信州なご助」
©長野県教育委員会